

■【トピックス】

3. 11



2011年3月11日は、日本の歴史に長く記憶されることになりました。

史上最大規模の地震に、映画でしか見たことがないような津波、そして決してあってはならない原子力発電所の放射能もれ事故です。

あまりに大きな惨事です！

多くの方がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。また、多くの方が被災されましたお見舞い申し上げます。1日でも早い復興をお祈りいたしております。

■【ビジネス・アイ】
システミック・リスク

社長 「これまで日本の原子力発電所は安全といわれていたけど、今回の地震による事故は未だに信じられないね」

花野 「そうですね。何重にも施されたバック・アップ・システムが破壊されました。想像を超えた事象が連続で起きたようです」

社長 「それでも想定外では許されない事態が生じてしまったね。被害の大きさを考えると残念でならないよ」

花野 「巨大な事故は、いつも想定外のことが原因で生じますね。想定されることで思考を止めてしまうことは危険ですね。そんなことは起きないと思っても想像することを止めてはだめですね」

社長 「そうだね。これまで発生していなかったという、これから起こらないという保証はどこにもないからね。特に地震とか、今回の場合は津波だけど想定外を想定することは大切だと思うよ」

花野 「今回のように想定外の出来事が連鎖して、システム全体が機能不全に陥るリスクのことをシステミック・リスクといいます」

社長 「そうなんだ。うちの会社もそのシステミック・リスクについて一度考えてみないといけないね」

花野 「是非、ご検討ください。起こりえないことが起きた場合に、どのように対処するのか。最優先に人命を守ることを考えていただきたいですね」

社長 「そうだね。建物は潰れても立て直すことができるけど、命は取り戻すことができないからね」

■【今月のキーワード】
システミック・リスク

システミック・リスク (Systemic Risk) とは、もともと金融システムに関するリスクのことをいいます。

金融機関相互間の債権・債務取引が、ある金融機関の決済システムの崩壊などにより、その影響がほかの金融機関に波及して金融決済システム全体が機能不全に陥るリスクのことをいいます。

今回の原子力発電所の事故でも、プラント全体が機能不全に陥ったことからシステミック・リスクが発生したといわれています。

■【今月の1冊】
『本当にわかる倫理学』

田上 孝一 著

日本実業出版社 ¥1500

大震災後、被災者の方の秩序だった行動が、海外から絶賛されています。海外では、残念ながら災害の後に略奪や犯罪が起きることが多くあります。

しかし、今回は一部のコンビニでは略奪行為が行われました。こんな時こそ何が正しいことなのか考えてみる必要があります。

「正義」とは何かを考えるのに順序立てて考えるのに分かりやすく良い本です。



■【編集後記】

未曾有の災害が日本を襲った中、この国の人たちの美しさに涙しています。命を懸けて原発事故と闘う人たち、わが身を顧みず外国人研修生を助けた人、捕鯨反対団体を救助した被災者、涙が止まりません。早く平穏な生活を取り戻しましょう！

『NEWS LETTER』 vol. 49 (毎月1日発行)

●定価：2,400円/年 ●発行日：2011.4.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>